

# いきいき通信

大船渡市男女共同参画情報紙

2010年9月

第25号



子育てサークル「きっぴんきっず」の活動日にお邪魔しました。スタッフ、会員、さらに越喜来地区更生保護女性の会の皆さんも加わり、楽しくにぎやかな交流になりました。

## — もくじ —

### 特集 男女共同参画社会の実現へ向けて .....P2~P3

地域社会のリーダーとして、長年活躍してこられた 金野カメ子さん(赤崎町)と田代光子さん(赤崎町)に、男女共同参画社会の実現へ向けてのメッセージなどを伺いました。

- 紹介! 子育てサークル「きっぴんきっず」..... P 3
- ようこそ三陸へ「三陸まるごと体験館」開館! ..... P 4
- 「家族と作ろう世界に1つだけの物講座」..... P 4
- 「再チャレンジ支援講座」スタート ..... P 4
- 「いわて男女共同参画フェスティバル2010」..... P 4
- 全国男女共同参画宣言都市サミット in おおふなと 10月8日開催! ..... P 6
- ぽかぽか縁側日記..... P 6

#### 男女共同参画社会とは・・・

男女が互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会です。

少子高齢化、国際化の進展など、社会経済情勢の急速な変化に対応し、調和のとれた活力のある地域社会を築いていくためには、男女共同参画社会を実現していくことが重要となっています。

編集・発行／大船渡市企画政策部男女共同参画室 / 〒022-8501 岩手県大船渡市盛町字宇津野沢15  
TEL 27-3111 内線214 FAX 26-4477

# 特集

## 男女共同参画社会の実現に向けて

少子高齢化が進む中、家族がお互いに尊重し合い協力し合う社会、多様な人材が活躍して生産性が向上し職場が活気に満ちた社会、老若男女がともに主体的に地域活動やボランティアなどに参画する社会、そんな男女共同参画社会の形成が早急な課題となっています。

地域社会のリーダーとして、長年活躍してこられた金野カメ子さん(赤崎町)と田代光子さん(赤崎町)に、男女共同参画社会の実現へ向けての、メッセージなどを伺いました。



### 金野カメ子さん (86歳)

赤崎町在住

- ◆ 赤崎町婦人協会会長、赤崎漁業協同組合婦人部長、赤崎岩手県漁業協同組合婦人部連絡協議会長、赤崎町交通安全母の会会長、大船渡市婦人団体連絡協議会長、大船渡市防火クラブ協議会長、大船渡市各種婦人団体連絡協議会長などを歴任。
- ◆ 現在、「21世紀ふるさとをつくる女性の会」代表
- ◇ 夫と長男夫婦との4人家族
- ◇ 趣味は、短歌を詠むことと、畑仕事

「地域のリーダーとして、社会貢献活動をたくさんしておられますが、そうした中で、「男だから」「女だから」という性差を感じたことはありませんか。

○金野さん 私は、同じ地域から大家族のところ嫁にき

ました。農業、漁業、そして家事と朝から晩までまぐるしく働いてきました。そんな状況の中で、地域の漁協婦人部の会員として、さまざまな課題に取り組んできました。男女の性差を感じるというよりも、男女がともに支えあわ

ないと生活が成りたないで、おのずと男女ともに協力し合い、理解し合いながら過ごしてきました。

### 「これまでの活動について、具体的に紹介してください。」

○金野さん 漁協婦人部では、昭和43年に、暮らしを守るための貯蓄運動を始めました。一世帯当たり毎月100円ずつの定期積み立てです。現在では、数億円に達し、生活安定の大きな資産になっています。

また、安心安全な水産物を生産するため、合成洗剤追放運動や、都市と農村漁村との連携を深めて、魚食普及運動にも取り組まれました。

昭和40年代には、セメント工場の粉塵公害が地域に甚大

な被害をもたらしていたことに対して、学習会や実態調査、さらにセメント工場長さんへの要望を行い、迅速に防塵設備を設置していただきました。

家業のかたわら、多くの仲間たちと、さまざまな課題に取り組んできました。周りの男性たちもまた、ともに協力してくれましたし、何より夫の理解が活力の源でした。

### 「金野さんにとって、男女共同参画社会とはどのようなものですか。」

○金野さん 男性も女性も支え合い、認め合い、美しく、明るく、そして活力のある漁村をイメージします。

平成11年に男女共同参画社会基本法が制定され、国では、政策や方針決定の場に女性がもっと関わる社会、家庭や地域や職場で、男性も女性も機会均等に能力を発揮できる社会の実現を掲げました。大船渡市でも、他市に先駆けて、女性政策推進室を設置し、女性行政の充実を図ってきました。

女性の皆さんには、今後とも、健康ではつらつと女性の感性を発揮し、男女ともに支え合い励まし合いながら、参画社会の実現へ向け前進することを期待しています。

### 紹介!

子育てサークル「きっぴんきっぴん」

(表紙写真)

子育てサークル「きっぴんきっぴん」は、平成17年に、小笠原薫さん(三陸町吉浜)と小松ティ子さん(同)が中心となり、子どもの遊び場と子育て中のお母さんたちの交流や情報交換の場を作ろうと結成されました。

現在、子どもが大きくなつた元会員の「卒業お母さん」やサポーターなどスタッフ10数名がボランティアで運営を支えています。

会員約20組の親子は、毎週水曜日の午前に、吉浜地区拠点センターでフリーマーケットやクッキング教室など、さまざまな活動を行い、楽しく交流しています。

長年の地域貢献に対して、今年度、「国際ソロプチミスト大船渡賞」を受賞しました。

### 問い合わせ先

代表 小笠原 薫さん  
副代表 白木澤京子さん  
TEL 45-2520



## 田代光子さん (80歳)

赤崎町在住

- ◆赤崎町婦人会長、大船渡市地域婦人団体連絡協議会長、JA赤崎婦人部長などを歴任。
- ◆市及び社会福祉協議会の介護ヘルパーに約30年従事。
- ◇長男と2人家族
- ◇趣味は、本を読むことと書くこと（県主催の「古文書上級課程」で約20年の受講歴）。平成19年には、「60過ぎの「教科書」にしたい本」と評された自分史「おんなの汀(なぎさ)」を発刊。

「男だから」「女だから」という性差を感じたことはありませんか。

○田代さん 雇用の場で感じました。私は、市のホームヘルパーと社会福祉協議会のヘルパーとして、寝たきり老人や心身障害児(者)や独居老人の介護など、30年間働きまわした。その間、夫が病気で入院し、障害者となった後に死去、それからは母子家庭で子どもを育ててきました。そのような中、退職の意思が無いのに退職を強いられ、昔のことはいえ、差別を感じたこともありました。

「地域での活動について、具体的に紹介してください。」

○田代さん 赤崎町の農協婦人部の部長や、赤崎町婦人会長などをやりました。仲間たちと、海・川の清掃や、ひとり暮らしの高齢者への声かけ運動など、さまざまな活動を行いました。

また、市婦人団体連絡協議会の副会長だったときに、三陸町婦人会と合併しました。地域が変われば環境や習慣も違い、何時間もさまざまな折衝を重ねました。当時は大変だったのですが、今となっては懐かしく思います。

同じく、市婦人団体連絡協

議会の会長のときには、50周年記念行事として、県婦人団体協議会理事の大和田イヨさんを招いて講演会を開催し、大盛会でした。

「田代さんにとって、男女共同参画社会とはどのようなものですか。」

○田代さん 例えば、女性だけが我慢したり、男性だけが頑張ったりするのではなく、家族みんなで助け合って、仲良く、心豊かに暮らしていける社会です。

私はヘルパーに長年従事し、介護の問題は誰にでも必ず生じてくることだと思っています。介護保険制度が始まり、家庭だけではなく、社会全体で介護する仕組みになり、ますます制度の充実が望まれます。

一方、依然として、介護は妻や娘など女性の仕事と決めつける慣習を感じます。これからは、男性も、食事作りや洗濯などの家事は、生活の一部として普通にやる意識を持つべきだと思います。

## 暴力は犯罪です

# DV等相談窓口



暴力根絶のシンボルマーク

### ◇市役所本庁1階 保健福祉課

平日 9:15～16:00

TEL 27-3111 内線 183

### ◆大船渡警察署生活安全課

無休(24時間) TEL 26-0110

### ◆大船渡保健福祉環境センター

平日 9:00～16:00 TEL 27-9913 内線 214

### ■職場でのセクハラ・性差別などに関する相談

岩手県労働局雇用均等室

平日 9:00～17:00 TEL 019-604-3010

### ◆岩手県福祉総合相談センター

平日 8:30～18:00 TEL 019-629-9610

夜間 18:00～22:00 TEL 019-652-4152

土日祝 9:00～22:00 ”

### ◆岩手県男女共同参画センター

火・金 9:00～20:00 TEL 019-606-1762

上記以外 9:00～16:00 ”

### ◆内閣府 全国共通 DV ホットライン

TEL 0120-956-080 (フリーダイヤル)

### ◆内閣府「配偶者からの暴力被害者支援情報」

<http://www.gender.go.jp/e-vaw/>

Q 「デートDV」って？

A 婚姻や同居をしていない、恋人など親しい男女間の暴力のことです。殴る・蹴るなどの身体的な暴力のほか、性行為の強要、携帯電話の着歴の無断確認、行動を監視・制限する精神的な暴力など、重大な人権侵害です。

# 「三陸まるごと体験館」開館!

ようこそ  
三陸へ

三陸町越喜来に、ホタテなど三陸の新鮮な海産物の炉端焼きや体験観光を行う「三陸まるごと体験館」ができました。

館長の熊谷満恵さん(三陸町越喜来)を訪ねました。

熊谷さんは、グリーンツーリズムのインストラクターとして、かねてから三陸の体験観光を企画しています。また、三鉄友の会に所属し、三陸鉄道三陸駅で旅行案内にも携わってきました。

4年前に、三陸鉄道の旅行担当者から、盛岡発のバスツアー向けに、三陸のおいしくて楽しい食事について問い合わせがあった際、地元のホタテ養殖組合の方々、民宿「瑞楽」の協力を得て、「浜の母ちゃん料理」として、早採りワカメとホタテのシヤブシヤブ、牡蠣の煮物、鱈汁をふるまったのがそもその始まりです。

以来、「浜の母ちゃん料理」のほかにも、牡蠣むき体験や、鮭やすめるの燻製作りなどの体験観光も組み合せ、来客を受け入れてきました。今年4月に、「三陸とれたて市場」の支援を得て、空き家を改装



“三陸”をふるまう熊谷館長

し、炉端焼き「三陸まるごと体験館」を開館しました。

おいしい食事あり、手作りおやつあり、体験観光あり、三陸をまるごと体験してみませんか!

●要予約●

Tel 44-11010

●場所●

三陸町越喜来

字前田159-1



威風堂々、土間の“かまど”

Only One!

## 「家族と作ろう 世界に1つだけの物講座」



夏休みの1日、杉田市小友町で、6組の親子16人が、マルチラックや写真立てなど、思い思いの作品作りを楽しみました。

## いわて男女共同参画フェスティバル2010

去る6月26日、「いわて男女共同参画フェスティバル2010」で、当市の簡智恵子さん(大船渡町)が、

男女共同参画情報紙の編集長として10年にわたる功績などで、「いわて男女共同参画社会づくり功労者県知事表彰」を受賞しました。

また、基調講演では、NPO法人フアザリーリング・ジャパン



達智知事と記念撮影  
簡さんは右から3人目



講師の晴山さん

## 「再チャレンジ」支援講座「スタート」

第1回目は、県男女共同参画センターの晴山玲美さんが講師として、「家庭・仕事・地域(活動)・趣味など、さまざまな分野が調和してこそ、充実した人生(ライフ)になる」と提案しました。受講者からは、自分を見直す時間がもてたなどの感想がありました。

の安藤哲也さんが、「父親であることを楽しもう」と熱弁をふるいました。

「子育ては期間限定。ひざの上に座ってくれるのはせいぜい小学2年生まで。それまでに、うまく時間をとって子どもと接



講師の安藤さん

しないと、中学、高校と成長するにつれ、どんどん父親から離れて、大事なことは全部母親に相談するようになる。そんな人生で楽しいの?と問いかけたり、「よい父親ではなく、笑っている父親になろう。父親が変われば、家庭が、地域が、企業が、そして社会が変わる」と語りかけたりして、満場の拍手を浴びました。

ろうにやくなんによきょうどうさんかく  
～老若男女共同参画 動き出そう とともに笑顔の社会をめざして～

# 全国男女共同参画宣言都市サミット in おおふなと

**10月8日(金)午後1時・リアスホールで開催!**

男女共同参画社会の実現は、老若男女誰もが生きやすい社会、子育てしやすい、働きやす 暮らしやすい社会をつくることにつながります。

大船渡市では、男女共同参画都市宣言から15周年を迎えることを契機に、さらなるステップアップをめざして、内閣府の協力のもと、「全国男女共同参画宣言都市サミット in おおふなと」を開催します。

- 期 日 10月8日(金)
- 時 間 13:00～17:15  
(12:15 開場)
- 会 場 リアスホール 大ホール
- 入場料 無料

※ 参加には事前の申し込みが必要です。申し込んだ方には、後日入場整理券を送付します。

★  
「鮭のすり身汁」「柿の葉茶」「かま餅」の  
“おもてなしコーナー”あり!  
各団体のパネル展示あり!!

申込先/問い合わせ先  
市男女共同参画室  
TEL 27-3111 内線 214

## ●サミット当日の日程

※手話通訳・託児あり

時間と内容	
13:00～13:20	オープニング(千歳明神太鼓)
13:20～13:40	開会あいさつ(主催者・来賓)
13:40～14:00	内閣府からの報告
14:00～15:30	基調講演 講師=住田裕子さん(弁護士)
15:45～17:05	シンポジウム ・パネリスト=男女共同参画宣言都市首長 神奈川県相模原市 加山俊夫市長 兵庫県宝塚市 中川智子市長 大船渡市 甘竹勝郎市長 ・コーディネーター もりおか女性センター 平賀圭子センター長
17:05～17:10	サミット共同宣言
17:10～17:15	閉会あいさつ

## 講師 住田裕子さん 略歴



昭和26年6月21日生まれ。弁護士。  
兵庫県加古川市出身 東京大学法学部卒業。  
昭和54年東京地方検察庁検事任官。  
以後、大阪等各地の地方検察庁検事として転勤を重ね、昭和62年に法務省民事局付検事(女性初)として民法等の改正を担当。平成元年に法務大臣秘書官(全省庁初の女性秘書官)。  
その後、司法研修所教官等を経て平成8年弁護士登録。住宅金融債権管理機構(現 整理回収機構)の法律顧問に就任。その他、さまざまな公職・獨協大学特任教授などを歴任し、現在、内閣府男女共同参画会議、総合科学技術会議、文部科学省、経済産業省などの審議会委員。  
日本テレビ系「行列のできる法律相談所」ほかに出演中。  
著書・論文多数。同業の夫との間に2子あり。

# ぽかぽか縁側日記

このコーナーは、皆さんのページです。川柳、エッセー、おもしろ話、困った話などなど、どしどしお寄せください。

## 方言の味

旅行での楽しみは、なんといつてもその土地ならではのうまいものがしだね。そして、もうひとつは、その土地の方言。これにふれると、ほんとに旅した感じになる。そしてこちらは無料で味わえるもんね。津軽弁、また聞きたいものです。

わが家で方言といえば功罪ほぼ半ばかな。まず恥をかいたことひとつ。

娘の嫁ぎ先の奈良にメガブを送った時、丁寧な説明書をつけた。「さつと湯を通した

らよくかます」次の日、娘から電話あり。「お父さん『かます』って何のことってお義母さんから聞かれたよ」

次は方言のおかげという話。

娘夫婦が都内に転勤となり、孫も転校。親は心配したようだが、すぐ人気ものになったらしい。それは、方言のおかげなんだと。孫は「今日は寒いね、べっちゃ」みたいは何にも『べっちゃ』をつけたらしい。他の子も面白がつて使い、すぐ流行語に。孫についてたあだ名も『べっちゃ』だと。

今の時代、方言をかくすより、まる出しの方がその人の味がでていいらしい。時代も

変わりましたね。

ではついでに小生お気に入りの赤崎のバスガイドのMさんから仕入れたものです。

気仙出身の青年が、都会のお嬢さんとお見合いをするようになった。本人同士はすぐに意気投合。両方の両親も互いに気に入って、2人でどこかへと促した。若者は意気揚々と自慢のバイクにまたがると、「後ろにどうぞ」と彼女を誘った。彼女は思わずしながらも、とにかくバイクの後ろに乗った。「しつかりつかまて」と言われたが、何しろ初めての経験、どこかきこちな

## さんかく山柳

「今日もまた 妻生さがいの ボランテニア」

「さあ出番 今日はおなたと 妻が言う」

「よいいドン 男女参画 競技会」

日頃市町 山下タエ子

市内川柳会会員の川柳です。皆さんも男女の役割分担等のユーモラスな川柳をお寄せください。



## 編集後記

い。そこで彼は言う。「なんか、えんずいな」すると、彼女、「ねえ、えんずいってなんのこと？」さあ彼は困った。なんと意識したのか、どうも思いつかない。やけくそ半分に、「愛してるってことさ」とすると彼女、ちよつともじもじしながら、小さな声で言った。「わたしもえんずいわ」。

閑々人

「全国男女共同参画宣言都市サミット」が大船渡市で開催されることになり、市民の間でも関心が深まってきました。このサミットが、家庭、地域、職場などで、「男女平等」や「男女の機会均等」について話し合ったり、一人ひとりが気づく契機になればいいと思っています。

今回は、男女共同参画の先駆者で、大先輩のお2人にインタビューしました。経験に基づくお話に、重みを感じました。(簡)